

対象年度		令和 7年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		結城南中学校区新設校建設事業						予算事業名		結城南中学校区新設校建設事業費					
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令						
				10	02	03	3001	経常経費							
総合計画体系		未来を担う子どもと 生き生きとした市民を育む地域を目指そう 地域への愛着と誇り、「生きる力」を育む教育環境づくり 安心して学べる学校づくりの推進						事業の区分		主要事業(6次総非掲載)					
								担当課係等		学校教育課 小学校新設推進係					
		事業期間		継続 (令和 5年度～令和 9年度)											
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
網川小学校、江川北小学校、江川南小学校、山川小学校、上山川小学校の5校を統合し、小中一貫型小学校・中学校とするために、新設小学校を結城南中学校の敷地内に整備する。								児童生徒数の減少傾向により小・中学校の小規模化が進行しているなか、快適な教育環境・特色のある魅力的学校づくりを目指し、令和3年度に「適正配置等に関する方針」が示された。							
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】								【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】							
R5年度：校舎基本設計・実施設計(1年目)、測量調査、プール部室倉庫解体工事 R6年度：校舎基本設計・実施設計(2年目)部室・体育倉庫新設工事、テニスコート新設工事 R7年度：建設工事(1年目)、駐輪場解体・駐車場整備工事 R8年度：建設工事(2年目)、外構工事实施設計、外トイレ新設工事 R9年度：建設工事(3年目)、外構工事、備品購入、引越業務 R10年度：開校								結城南中学校区の小中学校							
								【事業をとりまく環境の変化】 建設資材や労務費の高騰により建設費用の上昇が見込まれる上に、令和10年度開校を目指し計画的に新設校建設事業を進めるためには、建設予定地にある中学校施設の解体新設等が事前に必要になる。							
【令和 7年度 事業内容】				【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】							
・新設校建設工事、監理委託(1年目) ・駐輪場解体・駐車場整備工事、監理委託				・新設校建設工事、監理委託(2年目) ・新設校外構実施設計委託 ・外トイレ新設工事、監理委託				・新設校建設工事、監理委託(3年目) ・新設校外構工事、監理委託 ・備品購入 ・校内LAN機器賃借 ・引越業務委託							
■事業費															
				R05年度		R06年度									
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	6,720								
	県		支	出	金	0	0								
	地		方		債	16,500	77,500								
	そ		の		他	0	0								
	一		般	財	源	17,193	26,594								
歳入計(千円)				33,693		110,814									
歳 出 内 訳	節(番号+名称)			金額(千円)		金額(千円)									
	11	役務費		0		492									
	12	委託料		33,693		34,474									
	14	工事請負費		0		75,749									
	18	負担金補助及び交付金		0		99									
	歳出計(千円)(A)				33,693		110,814								
伸び率(%)						228.89									
備考	総合計画 ページ 予算書 179 ページ														

令和 5年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R05年度	R06年度	R07年度
活動 指標	業務委託契約手続き件数（主な委託業務）	件	目標	6.00	2.00	2.00
	R5設計業務、測量調査、アスベスト調査、環境整備実施設計業務5件 R6部室・倉庫、テニスコート新設工事監理 R7新設校建設工事監理、駐車場整備工事監理		実績	8.00	0.00	0.00
	工事契約手続き件数（主な工事）	件	目標	1.00	2.00	2.00
	R5(1)プール・部室・倉庫解体工事 R6(1)部室・倉庫新設工事(2)テニスコート新設工事 R7(1)新設校建設工事(2)駐輪場解体・駐車場整備工事		実績	1.00	0.00	0.00
成果 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	推計より早く複式学級が編成された学校がある上に、対象校5校の小規模校としての現状や今後の減少傾向を踏まえると事業の必要性・緊急性が高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	公立学校に係る事業であるため、行政が実施しなければならない。
	手段の妥当性	A 妥当である	一般的な手法により設計・工事を執行し事業を進めている。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらも言えない	市内の既存学校と公平となるように必要最小限の教育環境の学校建設とすることでコスト削減に務めているが、特色ある学校を目指す場合はさらにコストの上昇が見込まれる。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	現在の小規模校を統合することで、事業完了により他の適正規模の学校教育環境に近づくため偏りはなくなる。
有効性	成果向上の余地	B どちらも言えない	令和10年4月開校に向けて、小学校建設と並行し、関連する既存中学校施設の環境整備事業を計画的に進めていく。
進捗度	事業の進捗	B どちらも言えない	実施設計の遅延、資材不足、建設現場の働き方改革による工期の延長により「結城市学校適正配置等に関する方針」で示した令和9年4月開校から1年延期し、10年4月開校を目標にしている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
基本構想・基本計画の内容に基づき新設小学校建設の設計業務を進めていく。小学校建設や関連する既存中学校施設の環境整備に関する工事費用は大きな予算を伴うため、国庫補助金や市債を十分に活用し財源を確保しつつ、市議会への報告と協力要請を並行して行っていく必要がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
保護者・住民代表から組織される結城南中学校区新設校推進委員会での検討及び市議会特別委員会の提言を踏まえ、地域や小中学校関係者と連携して事業を進める必要がある。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☒ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 児童数が減少する中でも魅力ある教育環境を提供できるよう、自主財源の確保や後年度負担の軽減などに配慮しながら、令和10年4月の開校に向け新設校の建設を推進する。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり	